

シリーズ【皆既日食】Vol.3
 ~ 双眼鏡用のフィルターを作らしましょう ~



双眼鏡のフィルター装着
 双眼鏡の前にフィルターを付けます。



×
 ダメな例
 日食観察メガネで双眼鏡を覗くのはダメです。

双眼鏡や望遠鏡で太陽を直接のぞくようなことは絶対にしてはいけませんよ。

双眼鏡や望遠鏡は大きな虫メガネのようなものです。虫メガネで太陽の光を集めて黒い紙を燃やしたことが皆さんもあるでしょう。望遠鏡や双眼鏡で太陽を直接のぞくことは、目の組織を燃やしてしまうことと同じです。

日食観察時に、双眼鏡や望遠鏡を使用するには、まずレンズの前で減光する必要があります。そのためには、太陽観察のための特殊なシートを使って専用のフィルターを作り、対物レンズの前に装着する必要があります。

この特殊なシートは、可視光の強さを1/100,000以下に押さえる性能があります。このシートを使用することで、双眼鏡や望遠鏡の口径に応じたフィルターを自作することが可能です。

特殊シートについてもネット上で紹介されていますので興味を持たれた方は調べてみてください。

解説：平山 英俊 Hidetoshi Hirayama

屋久島環境文化研修センター研修課長。天体をこよなく愛し、星空観察等での繊細かつ熱い想いの伝わるレクチャーが人気。



宮浦中「職場体験」受け入れレポート

村センターにフレッシュ職員、現る！



5月20日～22日の3日間、宮浦中学校の生徒さん2名が、文化村センターで職場体験学習をしました。アテンダントや総合案内業務などを実際体験し、「働く」ことに対しての理解を深めました。

【小倉 幸恵さんの感想】
 初日は緊張したけれど、3日間頑張りました。

【久保 杏沙さんの感想】
 みなさんすごく親切で、楽しく体験することができました。

関西かごしまファンデー

「懐かしい顔会いました

5月24日(日)「第5回かごしまファンデー」が京セラドーム大阪で開催されました。この催しは、関西鹿児島県人会総連合会が主催するもので、当財団も参加しました。

新型インフルエンザの影響が心配されましたが、約32,000人の来場者がありました。近畿屋久島会の皆さんと屋久島及び財団の広報活動を行い、充実したファンデーとなりました。



～財団職員が、それぞれの想う「屋久島」を語るコーナー～
 連載【屋久島を想う】⑤

『地域との交流の場』

村センター勤務：桑原 幸夫



村センターに異動して早2ヶ月、縄文杉登山始動、携帯トイレ導入試験の呼びかけに参加し、早速屋久島の抱える山岳問題に直面。縄文杉では高塚小屋のトイレの尿尿を人力で搬出をされている方達の大変さを目の当たりにしました。これらの経費に充てられるはずの山岳部保全募金は思うように集まっていないとのこと、これまで以上に募金の協力をお願いします。

また、町民の方々に文化村センターをもっと身近に感じて頂けるよう、地域で活動している方々に情報発信の場として展示等を行ってもらい、島内外からの来館者と地域の方々が文化や芸術活動を通して交流していただける場所を提供していきたいと考えています。

屋久島環境文化村中核施設
 休館日のお知らせ

【文化村センター・研修センター共通】
 6/1(月), 8(月), 15(月), 22(月), 29(月)
 7/6(月), 13(月)

夏休み期間(7/20～8/31)は毎日開館します。
 両センターのイベントについては、表面をご覧ください。

今月のおすすめBook

あなたが世界を変える日

～12歳の少女が環境サミットで語った伝説のスピーチ～
 ゼァン・加ズ=双キ著 / 学陽書房 / 単行本65ページ

環境問題に関する多くの書物がありますが、どの本よりも簡潔で、環境への姿勢を変えてくれるのはこの本でしょう。名だたる世界の首脳の前にスピーチした12才の少女。「リオの伝説のスピーチ」内容はとても率直で「ウラとオモテ」のない言葉。環境問題だけでなく、少女の言葉からは多くのことが学べ、一人一人の心に響く一冊です。

この本は、村センター・研修センターで閲覧できます。(貸出はできません。)